

釧路市立小中学校のあり方検討委員会（第2回 2021年9月22日開催）

■発言要旨

委員：釧路市内の学校施設は、生徒は何人くらい収容できるものなのか。国の義務教育学校の標準クラス数が18から27クラスとなっているが、27クラス編成の時に受け入れられる学校はあるのか。

事務局：現在市内の小学校で一番大きな学校では20クラスであるが、元々、児童数が多い時期に建設されている学校もあるので、ある程度の大きさはある。

委員：小中一貫教育が考えられるが、義務教育学校は適正な規模の中の単なる数合わせではなく、新しい教育というのを結び付けていくことができればと思う。

委員：今後統合する話が出てくると思うが、通学の手段や安全をいかに行っていくかという事があり、保護者のアンケートやヒアリングを実施することは考えているのか。

事務局：アンケートは現時点では考えていないが、委員会としての方向性が見えた時期に、地域懇談会の開催を考えている。

委員：総論的な観点でメリット・デメリットを整理したが、今後釧路の実情について検討していきたい。